

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部看護研究科では、下記の臨床研究に、試料・情報の提供を受けています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：ストレスチェックは高齢者施設での離職を予測できるか

1. 研究に関する情報

1) 研究の目的

日本の様々な分野で人材不足が問題となっていますが、2025年以降医療福祉業界は今後さらに人手不足が顕著になると言われています。その一方で、社会保障費の増大に国の財政難に陥っており、経済産業省も、厚生労働省も医療福祉分野でのさらなる労働生産性と働き方改革を求めています。増大する看護師不足のなかで、離職の多い病院はより多くのコストが必要で、ケアの質にも影響を与えるという研究もあり、離職を防ぐことは管理的視点からも重要な取り組みとなっています。

一方で、メンタルヘルスへの社会的取り組みの機運を受けて、厚生労働省は2015年からストレスチェックを義務化しています。ストレスチェックはそのストレスに関する結果の妥当性が高いという研究結果も多く出されています。しかし、ストレスチェックの1つ目の目標である高ストレス者への働きかけも十分に行えておらず、2つ目の目標である集団分析で環境改善に役立てることもできていないのが実情です。今後、ストレスチェックをより有効活用し集団分析の指標が明らかになれば、病院や介護施設などでも離職率を低減するための環境形成や施設経営を進めるにはどのようにすればよいかなど様々な問題に答えることが可能となり、その社会的貢献価値は高く、結果として医療福祉従事者の働き方改革につながると考えています。

この研究は、本学と下記の研究協力機関との間で、法令等に準拠して作成した共通の研究計画書に基づいてグループを形成し、共同研究として実施されます。したがって、本研究に参加する研究協力機関は、共通の研究目的と実施計画の下に一体的に学術研究活動を行っております。

【研究担当者】

伊藤 智彦 宮崎大学医学部看護学研究科看護学専攻
原田奈穂子 宮崎大学医学部統合臨床看護科学講座精神看護学領域教授
香田 将英 宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野助教

【研究協力機関】

約10施設

2) 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2021年7月まで行われます。

2. 対象者

2018年1月1日に各研究協力機関に所属している医療福祉従事者が対象になります。研

究協力機関から合計 665 名の協力を予定しています。

3. 提供を受ける試料・情報の内容

本研究では研究協力機関から提供される以下の匿名化された情報を使用し、研究に同意できない研究対象者の情報は削除されます。提供を受ける際は、対象となる方のプライバシーを保護するため、個人情報などは数字や記号に置き換えて提供を受けますので、研究者に個人情報が渡されることはありません。

基本情報 - 性別、年齢、勤続年数、雇用形態、役職、婚姻の有無、子供の有無、ストレスチェック実施前月の残業時間

事業所情報 - 事業所の種類、事業所の在籍者数、事業所の 2018 年の採用者数・退職者数の情報

2018 年ストレスチェックデータ（職業性ストレス簡易調査票）

4. 参加拒否したい場合やご質問等の連絡先

この研究への不参加への申し入れや質問があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

【連絡先】主任研究者 伊藤 智彦

住 所：宮崎市清武町木原 5200 番地 G614（精神看護学領域）

電 話：0985-85-9727（内線：2620）